

オミクロン株の大流行で、党議員団が保健所に緊急の申し入れ

日本共産党市議団は左の趣旨のような緊急の要望書を保健所に送りました。

要望書

釧路保健所長 高垣正計 様

2022年1月21日

日本共産党釧路市議団

- 1、高齢者、重症化リスクの高い方への3回目のワクチン接種の迅速化。
- 2、無症状者を対象に「いつでも、誰でも、無料で」受けられるPCR検査の実施。PCR検査センターの再開。
- 3、陽性者を安全に保護・隔離する宿泊療養施設を増やし、至急再開すること。
- 4、オミクロン株の感染事例の具体的な情報提供。
- 5、子どもへの接種では副作用についても情報提供し、保護者に十分な判断材料を提供すること。
- 6、ワクチンを打たない子どもへ差別的な扱いをしないこと。

新型コロナのワクチン

子どもへの接種は任意で強制ではありません



新型コロナウイルスワクチンについて懐疑的な考えをもち、「子どもの接種は反対」というお医者さんの話を聞きました。私は専門家ではないので科学的判断はできません。しかしこうした情報が少ないのも事実です。自分で判断することが難しい子どもの接種となれば、マイナス面も認識したうえで、保護者が的確に判断することが必要です。「接種をやめよ」というつもりはありませんが、ぜひ考えていただきたいテーマです。

私が理解した中身に紹介します。先生のお話を正確にお伝え出来ないかもしれませんが、お読みください。

MRNAという仕組みが新しいタイプのワクチンです

これまでのワクチンはウ



Zoomでの参加もできます。

Zoom参加希望の方は、kazushige.murakami@nifty.comにメールをください。

もともとは21日に議員団が保健所を訪ね、申し入れと意見交換をする予定でした。しかし、感染が急拡大。保健所から対応に追われ、会うことが出来なくなつたとの連絡があり、郵送で要望書を送付することになりました。

紙智子参議院議員、松橋ちはる党道国政相談室長を囲んで

共産党のつどい

共産党や政治について、日頃思っていることをなんでも聞いてください。

日時 2月4日(金)午前10時から
会場 コア鳥取 2階研修室



イルスなどを無毒化・弱毒化したもので、その意味ではワクチンも自然由来。しかし今回は人工的につくつたMRNAを体内に入れて抗体をつくります。新しい手法なのに、「急いでつくれ」の号令のもと、安全性の確認作業は異例のスピードでした。先生は本来なら「いまもって治験の段階」と言いました。

ワクチン接種後の死者は日本で1236人と説明

接種の副反応での死者はいないと言います。しかし、ワクチン接種後亡くなった人は昨年9月23日時点で1233人と、先生は強調しました。ただし政府はワクチンとの因果関係はないと言っています。数字の根拠を私としては確認できていませんが、この数字そのものは驚くべき数字でした。

ワクチンは本当に有効か

ワクチンを接種するたび身体全体の抵抗力は落ちるそうです。オミクロン株が

猛威をふるっている国は、ほとんどがワクチン先進国です。接種が進まないアフリカ諸国では患者数も感染率も、先進国を大きく下回っています。国内外の人流の関係もあるのかもしれませんが、ワクチンの繰り返しで国全体の免疫力がさがり、変異株が爆発的感染を引き起こすようになったとみることができるとのお話でした。



子どもには必要ない

ウイルスはある程度の変異をくりかえすと弱毒化する傾向があるのだそうです。オミクロン株は感染力は強いのですが、毒性は下がっていると考えられます。

子どものコロナでの死亡は、これまでも重い既往症がなければほとんどありませんでした。「オミクロン株ならなおのこと。子どもにワクチンを打つ必要性はありません」とのお話でした。

私は、ワクチンで子どもを守ろうとすることよりも、子どもに感染させない環境をつくること、検査の徹底、医療機関の拡充がもっと大事だと思うのですが、みなさんはどうお考えですか・・・

